会員各位

一般社団法人東京都トラック協会 運輸安全委員会 委員長森本勝也

# 歩行者保護と基本的な安全確認の徹底について

拝啓時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は、東ト協の事業各般にわたり、種々御高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、警視庁管内における令和7年の事業用自動車による交通事故の発生状況は、11月12日現在、死亡事故発生総件数では19件であり、前年同期と比較すると8件減少しているものの、会員関与の一当死亡事故は4件となり、前年同期と比較すると2件増加するとともに、昨年の総件数から1件増加してしまいました。

本年策定された、「関東地域事業用自動車安全施策2025」では、高齢歩行者の死傷事故(車両直前横断事故)への対応が最重要項目のひとつとして掲げられています。今回発生した事故では、高齢歩行者が横断歩道を横断中、事業用大型貨物自動車に轢過されたものであり、発生時は前照灯の点灯を必要としない昼間時、それも晴天であったことから、安全不確認が原因と考えられるとともに、最重要項目に合致した、注意しなければならない典型的な事故といえそうです。

これから年末の繁忙期に入り、道路交通の輻輳とともに、事故が多発する傾向にありますので、交通事故死者数をこれ以上増加させないために、歩行者保護と基本的な安全確認の徹底をお願いいたします。

特に12月10日(水)から来年1月10日(土)まで、「年末年始の輸送等に関する安全総点検」が実施されます。より一層安全意識を高め、歩行者・自転車はもちろん、他の交通にも十分注意するとともに、交差点や横断歩道における安全確認を徹底されますよう、運転者に対して指導・徹底をお願いいたします。

Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

令和7年9月16日 関東運輸局

# 「関東地域事業用自動車安全施策2025」を策定しました

関東運輸局管内における事業用自動車の交通事故は、<u>重傷者数、人身事故件数は減少</u>しているものの<u>死者数は増加</u>しており、各業態(バス、タクシー、トラック)の<u>「乗合</u>バスの車内事故」、「タクシーの死傷事故」は多発、「トラックの飲酒運転」は根絶に至っていない状況となっています。(別紙)。

関東運輸局では、これらを踏まえ、さらなる事故削減のため「関東地域事業用自動車 安全施策2025」を策定し、<u>効果があると考えられる取組を継続</u>するとともに、「飲 酒運転」、「乗合バスの車内事故」、「高齢歩行者の死傷事故」、「タクシー出会い頭衝突事 故及びトラックの追突事故」を最重要項目として位置付け、関係事業者団体等と連携し、 事故削減に取り組んでまいります。

公共交通の利用者及び交通参加者(歩行者、自転車及び他の車両の運転者等)の皆さ まにおかれましても、交通事故削減により一層のご協力とご理解をお願いします。

# 《 <u>最重要項目に対する取組み(抜粋)</u> 》

# 飲酒運転事故件数の近年の下げ止まりへの対応

- ▶ 事業者·運行管理者·運転者の意識の変革に取り組む。
  - 飲酒が運転に及ぼす影響について、運転者教育に活用できる飲酒運転対策を検討する。
  - 飲酒運転防止の正しい情報を各種講習会、交通安全運動や安全総点検等において周知する。

#### 依然として多発する乗合バスの車内事故への対応

- ▶ 運転者のみならず、乗客や交通参加者における安全運行への理解の向上に取り組む。
  - 乗客及び交通参加者に向けた安全運行への理解や適切な行動を促す周知材料の作成を行う。
  - 添乗調査により実態を把握し、事故防止の検討を図る。

## 高齢歩行者の死傷事故への対応(車両直前横断事故)

- ▶ 基本的な安全確認を徹底し、歩行者や利用者等にバス付近の危険行動の理解の向上に取り組む。
  - 各事業者の事故防止対策の取組を収集し、情報の共有を図る。
  - バス車両の直前横断の危険性について歩行者等に向けた周知材料の作成を行う。

#### タクシー及びトラックの特徴的な事故への対応

- ▶ 事業者・運転者の安全意識のさらなる向上及び効果がある取組を継続して取り組む。
  - 事故事例を公表し、特徴的な(出会い頭及び追突)事故への活用及び安全意識の醸成を図る。
  - 運転者向け安全運転の啓発ツールの検討及び事故分析等の情報を各種講習会等で周知する。

#### <関係資料>

関係資料については、関東運輸局のホームページをご覧ください。

(URL) http://wwwtb.mlit.go.jp/kanto/jidou\_gian/hoan/siryou\_2025.html

#### 【問い合わせ先】

関東運輸局 自動車技術安全部 保安・環境課 松澤・黒木・中島 電話 045-211-7256 (直通) FAX 045-201-8813

#### (配布先)

神奈川県政記者クラブ、横浜海事記者クラブ、都庁記者クラブ、物流専門紙、ハイタク専門紙

# 〈別紙〉関東地域事業用自動車安全施策2025【概要】

# 関東地域事業用自動車交通事故削減目標(計画期間:2021~2025)に対する安全施策2024の評価

- ▶ 全体について、交通事故死者数、飲酒運転は増加、重傷者数、人身事故件数は減少傾向が鈍化し、目標の達成が危ぶまれる状況。
- ▶ 各業態については、乗合バスの車内事故、タクシーの24時間死者数が目標から大きく乖離しており、トラックの飲酒運転には全く減少がみられない。
- ▶ さらなる事故の削減のため、効果があると考えられる取組を継続するとともに、「車内事故」、「高齢歩行者の死傷事故」、「タクシー及びトラックの特徴的な 事故」、「飲酒運転」を最重要事項と位置づけ取り組んでいく必要がある。

# 事故削減目標に対する状況 (2024年末時点)

■ 全体目標

- ①24時間死者数 55人以下※2 ⇒ 104人 (+16)
- ③人身事故件数 6,340件以下 $^{*2}$   $\Rightarrow$  9,362人 (-307) ④飲酒運転 ゼロ $^{*1}$   $\Rightarrow$  11件 (+1)
- ②重傷者数 **600人以下** $^{\times 2}$   $\Rightarrow$  **697人** (-29)

## ■ 各業態の個別目標

【バス】

- ○乗客死者数 ゼロ<sup>※1</sup> ⇒ ゼロ (±0)
- ○24時間死者数 **0人**<sup>※2</sup> ⇒ **4人** (+2)
- ○重傷者数 45人以下<sup>※2</sup> ⇒ 44人 (+1)
- ○人身事故件数 **280件以下** $^{*2}$   $\Rightarrow$  **428件** (+26)
- ○乗合バス車内事故件数 20件以下※2 ⇒ 107件 (+21)
- ○貸切バス乗客負傷事故件数 5件以下※2 ⇒ 10件 (+6)

### 【タクシー】

- ○乗客死者数 ゼロ<sup>※1</sup> ⇒ 1人 (+1)
- ○24時間死者数 5人以下※2 ⇒ 13人 (+1)
- ○重傷者数 175人以下※2 ⇒ 213人 (+4)
- ○人身事故件数 2,700件以下※2

⇒ 3,541件 (-152)

- ○飲酒運転 ゼロ<sup>※1</sup> ⇒ ゼロ (±0)
- ○出会い頭衝突事故件数 330件以下※2

⇒ 551件 (-49)

### 【トラック】

太字は削減目標

- ○24時間死者数 50人以下※2 ⇒ 87人 (+13)
- ○重傷者数 380人以下<sup>※2</sup> ⇒ 440人 (-34)

※1:直ちに削減するべき目標 ※2:2025年末までに削減するべき目標

・矢印(⇒) 先は2024年の実績 括弧内は前年差

○人身事故件数 **3,360件以下**<sup>※2</sup>

⇒ 5,393件 (-181)

- ○飲酒運転 ゼロ\*1 ⇒ 11件 (+1)
- ○追突事故件数 **1,135件以下**\*2

⇒ 1,991件 (-75)

# 安全施策2025における取組

# 1. 「新たな日常 | における安全・安心な輸送サービスの実現

- ・新型コロナウイルス感染症拡大に伴う運送労働環境の変化と附帯作業の増加への対応
- ・人手不足の深刻化への対応、働き方改革の推進
- ・激甚化・頻発化する災害への対応
- ・オリパラ、万博開催等に伴う人流、物流の変化への対応

# 2. 抜本的対策による飲酒運転、迷惑運転等悪質な法令違反の根絶

最重要

- ・飲酒運転事故件数の近年の下げ止まりへの対応
- ・「ながら運転」の増加への対応
- ・社会的関心の高まる「あおり運転」への対応

### 3. ICT、自動運転等新技術の開発・普及推進

- ·デジタルトランスフォーメーション (DX) の推進
- ・自動車の先進安全技術の更なる普及
- ・ICTを活用した高度な運行管理の実現
- ・無人自動運転サービスに向けた安全確保

### 4. 超高齢社会におけるユニバーサルサービス連携強化を踏まえた事故の防止対策

最重要

・依然として多発する乗合バスの車内事故への対応

・路線バスにおける車いす使用者に関する車内事故への対応

最重要

・高齢歩行者の死傷事故への対応(車両直前横断事故)

高齢運転者事故への対応

## 5. 原因分析に基づく事故防止対策の立案と関係者の連携による安全体質の強化

最重要

- ・各業態の特徴的な事故への対応(タクシーの出会い頭衝突事故、トラックの追突事故)
- ・健康に起因する事故の増加への対応・初任、経験不足運転者への適切な指導監督
- ・大型車の点検整備の実施の推進(車輪脱落事故防止)
- ・運輸安全マネジメント制度を通じた安全体質の強化
- 監査のあり方

### 6. 道路交通環境の改善

道路交通環境の整備